

高等部1年 I期 校内実習

6月6日（月）から17日（金）の二週間にわたって、「自分を知る」をテーマにして高等部1年I期校内実習を行いました。作業班はポリパック班、農園芸班、製造班の3つで、丸三化成、藤原農園、リード本荘よりご協力いただき、実際の仕事に触れました。

まずは作業内容を覚え、効率よく作業することに取り組みました。机や使用する道具をどのように配置すればよいかや、一つの作業を繰り返した方がやりやすいか、一連の作業を全てやる方がいいかを考え、「自分の知る」ことに繋がっていきました。

二週目になると疲れが見え始めました。立ったままの作業で肩や腰に違和感があったり、集中が続かないと振り返ったりする生徒がいました。自分の課題が体調管理にあり、睡眠時間や食事といった普段の生活が大切だと気付きました。

3つの企業より協力を頂き、感謝の言葉をたくさん頂きました。働くことの「喜び」と「自分」を知る充実した二週間となりました。



左からポリパック班、農園芸班、製造班の様子です。頂いた仕事に責任をもち、丁寧に正確に作業に取り組みました。

中学部 作業学習・自立活動パワーアップ週間

5月30日から6月3日の5日間、「中学部I期作業学習・自立活動パワーアップ週間」を行いました。毎朝の全体会で、「作業学習5箇条～5つの頑張ること～」を復唱して作業学習に取り組みました。「自分からはっきりと挨拶、返事、丁寧な言葉遣いをする」「身だしなみを整える」「時間を守る」「集中して最後まで仕事をする」「ありがとうございます。すみません」を忘れない。これらを中学部段階でしっかり身に付けて、高等部や将来の「生活する力」「働くために必要な力」につなげていきたいと考えています。

初めて作業学習に取り組んだ1年生も同じ班の先輩の姿を見て、日々急いで行動するように、後半は5分前行動ができるようになっていました。この他にも、「挨拶」を自分からするようになったり、より長い時間「集中して作業をする」ことができるようになったりと成長が見られました。



がんばれ卒業生！！

R3年度卒：池田 亜海 さん

学校卒業後、働き始めることに不安を抱える方は多いと思います。池田さんの場合も同様で、本人や保護者からの聞き取り、在学時の様子からジョブコーチ支援が必要と考え、学校から支援を依頼しました。

卒業前の3月、本人と保護者、就職先、学校、支援機関（ジョブコーチ、イーサポート）が集まり、移行支援会議を開き、亜海さんの働き方や支援方法を確認しました。

ジョブコーチ支援は、3か月間にわたって週1回程度のジョブコーチの訪問、その後もフォローアップ期間として、1年間本人の様子を企業に伺ったり、本人や保護者、企業の相談を受けたりします。現在は、フォローアップ期間となり、職場では嘱託職員として6時間勤務。自動車免許取得後、働く生活に慣れてきたら、正社員としてフルタイム（8時間）勤務にする予定で進めています。

ダイワ工業株式会社

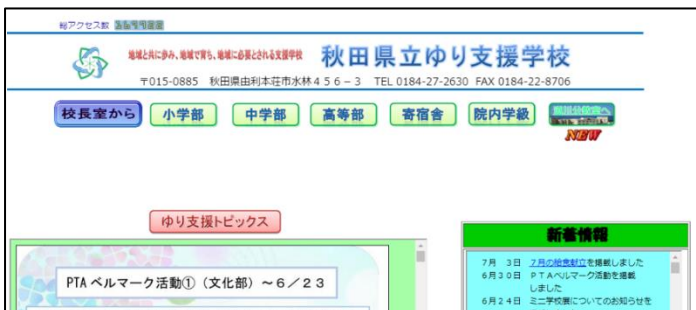
【ジョブコーチ支援利用】

「写真付きの手順表」と「メモ書き（難しい専門用語を簡潔に書いてくれています。）」



※ジョブコーチとは…「進路の手引き（中学部・高等部）」P27参照

小学部版には掲載していませんが、学校ホームページの進路指導部のページに上記の進路の手引きを掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



①下にスクロールすると「進路指導部」があります。

がんばれ卒業生！！

R3年度卒：高津舞緒さん（写真左）、伊東涼太さん（写真右）

高津さんは、在学時の現場実習でも経験した作業に取り組んでおり、手際よく進めていました。作業能力が高く、戦力になっているとのことでした。

伊東さんは、いろいろな仕事を任せられるとので、初めての作業に挑戦しており、菌床の置き方や向きを覚えるのに悪戦苦闘していました。

二人とも作業能力があり、これからの伸びに期待するとともに、コミュニケーションや生活習慣の課題を少しずつクリアしていくことが目標とのことでした。

※就労継続支援B型事業とは…「進路の手引き（中学部・高等部）」P32参照



②「進路指導部」をクリック



③「進路の手引き」をクリック

ほっこり茸の里

【就労継続支援B型事業】



段ボール組立



椎茸の菌床栽培